

各地区業況アンケート結果（28年2月調査分）

（28年2月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

2月24日締切で、当会役員154名に対しこのアンケートを行ったところ65名の回答があり（回答率42.2%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、(数は回答実数)

1. 6割近くが前年同月比減

問1】貴社の1月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	
売上数量/前年同月比	3	6	20	20	15	64	
比率	5%	9%	31%	31%	24%		DI-59
売上金額/前年同月比	4	4	18	22	17	65	
比率	6%	6%	28%	34%	26%		DI-68

2. いまだ増加する気配なし

問2】貴社の営業窓口から見て2月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI
公共建設向	1	6	24	16	5	52	-35
民間建設向	1	4	26	19	5	55	-42
自動車向		3	17	9	2	31	-32
その他需要家向	1	7	23	22	3	56	-34
仲間取引	1	4	23	17	7	52	-48
計	4	24	113	83	22	246	-39
比率	1%	10%	46%	34%	9%		

3. 収益悪化傾向、赤字企業は3割強

問3】貴社の1月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	
企業収益状況	8	16	19	16	6	65	
比率	12%	25%	29%	25%	9%		DI+6

4. いまだ回復の兆しなし

問4】貴社における向う3月から5月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	
短期需要動向予測	2	19	23	14	7	65	
比率	3%	29%	35%	22%	11%		DI -8

5. 在庫さらに過剰気味に

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	品種別	A	B	C	D	E		2月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-43	-50	-52	-52	-31	-39	-42	-42	-38	-48	-46	-36	鉄筋用丸鋼		1	13	8	1	23	-39
-25	-19	-29	-31	-15	-14	-27	-20	-23	-23	-28	-21	構造用丸鋼			19	8		27	-30
-16	-19	-18	-19	-17	-22	-13	-22	-10	-14	-30	-12	平角鋼		1	20	5		26	-15
-32	-41	-30	-29	-18	-25	-27	-23	-27	-25	-17	-10	H形鋼		2	17	8		27	-22
-42	-37	-27	-19	-30	-14	-27	-32	-23	-24	-33	-26	コラム		1	8	10		19	-47
-31	-38	-30	-27	-17	-26	-23	-19	-16	-30	-28	-13	小形山形鋼		1	22	6		29	-17
-31	-38	-30	-33	-17	-23	-26	-23	-19	-24	-28	-19	中形山形鋼		2	20	7		29	-17
-34	-34	-24	-30	-20	-16	-29	-30	-23	-24	-25	-27	溝形鋼		2	18	8		28	-21
-33	-46	-33	-48	-34	-33	-23	-34	-28	-28	-27	-25	軽量形鋼C形		1	17	5	1	24	-25
-44	-40	-32	-32	-22	-27	-18	-25	-40	-32	-57	-29	軽量形鋼広巾		1	8	6	1	16	-44
-45	-57	-43	-58	-41	-48	-56	-45	-57	-62	-40	-52	冷延薄板			11	12	1	24	-58
-36	-70	-47	-50	-31	-52	-62	-42	-55	-61	-33	-33	熱延薄板			15	15	2	32	-59
-30	-97	-32	-55	-35	-56	-67	-52	-48	-59	-32	-44	表面処理鋼板		1	11	15	2	29	-62
-54	-63	-41	-60	-55	-56	-67	-56	-62	-56	-42	-57	酸洗鋼板			12	18	2	32	-69
-39	-55	-46	-42	-33	-56	-45	-49	-49	-58	-44	-38	中板			17	18	3	38	-63
-33	-44	-33	-29	-34	-39	-39	-46	-44	-38	-30	-29	厚板			16	18	1	35	-57
-13	-22	-10	-16	-20	-11	-10	-17	-17	-14	-22	-18	極厚板		1	10	5		16	-25
-25	-32	-21	-19	-18	-15	-23	-23	-25	-23	-35	-30	縞板			21	6		27	-22
-34	-43	-42	-33	-29	-22	-37	-29	-34	-36	-34	-33	中径角			22	8	1	31	-32
-20	-21	-24	-21	-18	-19	-19	-25	-25	-21	-32	-14	ガス管黒		1	23	7		31	-19
-31	-25	-31	-32	-16	-23	-25	-20	-19	-20	-31	-20	構造用鋼管			23	5	1	29	-24
-33	-44	-32	-35	-26	-31	-34	-33	-33	-35	-33	-27	計	0	15	343	198	16	572	-38

6. 荷動き予想以上に悪化、価格も弱含み続く

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	現在、北海道は冬眠状態。しかし、4月以降、例年になく早い動きがある様子。春需に期待。
	B	冬場の荷動きが予想以上に悪かった。市況はジリ安傾向。
東北	A	昨年9月からの秋需もなく、当地は冬場に入った。荷動きがなく閑散状態。4月以降の需要に期待するしかない。工事案件は4月より多少の動きが出てくる。
	B	一次加工の需要も減っている。全体的に暇になっている。3月頃から動きが出ると思われる。価格の下落が激しい。(特に鉄筋)
	C	物件情報はあがるが、先物ばかりである。暫くは我慢。
	D	12月以降、まとまった新規案件の成約がない。今となっては心細くなった契約残で食い繋いでいる。2月中旬からスクラップの基調が変わり、期末に向けてメーカー側の勝利の気配か。
新潟	A	今年に入り、予想以上の悪化である。建築、土木とも物件がない。
	B	荷動きが悪く価格も下がり、利幅も薄くなっている。例年に比べて降雪が少なく、除雪仕事も非常に少ない。建設業関連の仕事は冬場で少なく、冬季の除雪仕事も少ないので、資金繰りに困る会社も出ると思われる。
	C	季節商品はピークアウトで不要期入り。産機、精密板金はほぼ横ばい。Hグレードファブは関東物件を中心に受注残は相応にあるが、直近は工程遅れ、一時の空きで繁忙感がない。Mグレードファブの足元稼働はフェードアウト。先の引合い案件も出てこず、不安感を抱いている。一般製造業者は業種によって濃淡がある。全体的に建産機、一般製缶の需要はジリ貧傾向である。市況は足元の需給、県外勢競合から弱含み、ジリ安傾向。
神奈川		先行き楽観的な話はあるが、足元の仕事量は薄い。年度末に向かうが、公共事業向けは盛り上がりへ欠け、民間建築、土木向けも低調である。
東京	A	荷動きが悪く、業種問わず、需要家の仕事が減っている。今後も需要は減っていくと思うが価格を大事にしていきたい。
	B	(厚板素材)販売量は全体感として12月より悪い。また各問屋では1月より国内規格材は1~2千円下げているが、ユーザーの購入量は全く増えない。無規材(ポスコ、CSC)のスポット安価を少しずつ購入している。メーカーの契約入着が早く、3月までメーカーの押し込み販売を心配している。現物の引合いが来ない時期に差し掛かっている。(切板)相変わらず、ガス切断の仕事は薄い。浦安全般に減少傾向と言える。レーザー加工は低位ながら横ばい。昨年、同時期には建築部材が多かったが、最近では産機のみ安定している。工作機械やプラントの一部と思われるものが主だが、量は稼げない。
	C	(鋼管)1月後半から2月にかけて失速している。先行き更に不透明感が増している。
	D	市況の下落が止まらない。メーカーの供給をもっと絞ってほしい。
	E	浦安鐵鋼団地内の活気も弱く、荷動きは低位安定の様子。オリンピック物件に対する期待も聞こえない。ほぼ空中戦であることが伺える。一度は下げ止まるかと思えた酸洗鋼板も底値が見えない。流通各社は苦戦が続くと思慮している。

静岡	A	昨年、仕込んでおいた物件が年明けに発注された。そのため稼働日数の割に1月はそこそこの売上が確保できた。しかし、2月はまた谷間に落ちてしまった。短納期で集中した後は一気に仕事量が減少するという繰り返しが続く。
	B	年明けから引合い、荷動きは芳しくない。賀詞交歓会も歯切れが悪い。鉄骨ファブもH、Mグレード中心に好成績だが、今後はトーン減退気味ながら余裕はありそうである。流通は大変である。大手鉄鋼流通の拡販体制強化、商社系統合など容赦ない。このアンケートに答えている全国津々浦々の同業他社の皆様の中をお察し申し上げる。隙間、隙間と常時、探求しているが、鉄鋼のコンビ二は必要とされないほど、第一次流通が組織化され、大、中、小の対応を充実化している。
	C	製造業の景況感、資材高、自動車の減産などで悪化し、1～3月は盛り上がりには欠け横ばいが続いている。公共工事は出件されているものの鋼材を使用する工事が少ない。鋼板の輸入材がどんどん浸透してきている。
石川		依然として、スーパーゼネコン以外は団子レースで受注競争が激しい。協力業者も余裕がなくなっているが、ロストアップもあるのでゼネコンの言いなりにはならない。そこで、ブローカー、商社だけが、天秤商売と空中戦伝票商売をしている。存在価値のある流通とは何か疑問が残る。北陸新幹線工事が再開しているが、鉄筋メーカーは苦勞しそうな気がする。
富山	A	建築物件の出件数が減っている。入札競争が激化の兆しでもとても不安である。市況はジリ安。口銭確保が難しい。今後、客先与信の表面化に注意が必要である。
	B	仕事減少で人手不足が一転しはじめた。人件費が上昇している。鉄鋼業界の採算性を不安視している。若手の人材が新幹線に乗って離れていく。
福井		新規見積り物件も少なく、引き続き低調である。今後もこのままの調子で行くだろう。
愛知	A	盛り上りに欠ける。2016年は静かなスタート。
	B	2月は例年ならば年度末に向けて自動車をはじめ、建築関連も盛り上ってくるが、盛り上りに欠ける。トヨタ自動車の生産ストップが水を差している。円高、株安も景況感を悪くしているし、皆、様子見に入っていて動きが鈍い。
	C	俗にいう2月、8月の暇な状況に大手自動車メーカーのライン停止が重なり、荷動きは思わしくない。幸いにして2月15日以降再稼働とのことなので、大きな混乱にはなっていない。ただ爆発したラインは修理に3月末までかかるとのことであり、自動車以外への影響が懸念される。
	D	11月、12月の動きから1月に期待したが、逆に1月は前年同月比マイナスになった。家具、陳列、搬送関係が良くなかった。集購は車種に恵まれず、前年割れが続いている。当地区の切断加工業者の廃業、赤字経営が表面化している。工賃の改定が当面の課題である。A社の事故でT社の操業が停止した。
	E	全体的に非常に悪い状況である。数量、引合いともに少ない。問屋間の値下げ合戦にますます火が点いている。
岐阜		自動車メーカーの休業もあり、地域景況は盛り上りに欠ける。実際、現物も物件の対応以外、動きは鈍い。
大阪	A	目立った大口物件もなく、中小物件が中心で冴えない状況が続いている。動きが出てくるのは秋以降かと思われる。次の消費税値上げ時の駆け込み需要に備えるべく宅地開発、造成工事の動きは活発になっている。

大阪	B	先安感から当用買い中心で荷動きはよくない。加工については小口短納期で、ばたっている。
広島		地元自動車向けの試作、金型用溶断も終盤戦となり、4月以降の計画がほとんどないとの情報もある。自動車向けは来期苦戦するのではとの憶測が出ている。中国を中心として輸出型産業はいずれも低調。公共工事がおとなしくなる3～5月も苦戦必死の様相である。なんとか相場だけでも横ばいでいってくれることを熱望する。
香川		平成28年1～3月についてはファブの仕事量も低レベルになる予想。公共投資(土木)も年度末に向かい、仕事量は減少傾向である。上向くのは4～5月以降と予想される。
福岡		1月度は全体的に動きが鈍かった。見積り引合いも少ない。博多駅周辺ビルの工事でも最終にきている。特に厨房関係の仕事が忙しい状況である。1月末から食品工場の設備の引合いが少し増えてきた感じがする。年度末に向けて期待している。大きな倒産もないが、1件1件、与信管理の徹底を図っていきたい。
北九州	A	1月末の雪害で大きく売上が減少した。反動増を期待したが空振り。1～3月は低調との予測であきらめ気分が蔓延している。
	B	荷動きは非常に悪い。このまま年度末までは、このままのような感じである。